

大学病院で研修って不安ですか？ そんな不安にお答えします。

Q 大学病院って救急が身につかない？

A 高度救命救急センターを有する高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院をはじめ、さまざまな形態の救急研修を協力型施設で研修することができます。大学病院でも多くのCPA症例を受け入れるようになり、多くの研修医が急変対応の現場で基本を学ぶことができる体制ができています。

Q 症例数が少ないが、手技はできるようになる？

A 客観的な数字をいえば、症例数は多くありません。しかし、病院での総数と研修医が経験できる数には、大きな隔たりがあります。高知大学病院では、希望すれば研修医が行ってよい範囲でどこまでも指導します。例えば、静脈採血、動脈採血、気管挿管、経鼻胃管挿入、動脈ライン確保、腰椎穿刺、中心静脈路確保（鼠径、総頸）、胸椎穿刺、腹腔穿刺、骨髄穿刺、関節腔穿刺、外傷の皮膚縫合、内視鏡検査、心/腹部エコー、BLS、ICLS
消化器外科で2か月研修した研修医は、全例で開閉腹、最初から最後まで術者は3例、胆嚢切除、腹腔鏡で胆嚢切除を経験しました。

Q Common diseaseが少ない？

A 高知大学病院には、総合診療部があります。総合診療部は、プライマリ・ケアを行う部門であり、さまざま症状・疾患の患者さんがおいでます。さらに心のケア外来、漢方外来、禁煙外来なども開設しています。病棟研修では身につけにくい外来初診研修を行うことができます。たすきがけ研修や協力型施設での研修を加えることで、多くのCommon diseaseを経験することができます。

Q 雑用が多そう

A 紹介状、検査の同意書、入退院の書類など、どこの施設に行ってもやらなければならない仕事であり、決して雑用ではありません。研修医のうちにマスターしましょう。また、高知大学病院では、診療収入を人件費に充てて、看護師、メディカルクラーク等を増員し、病院機能のレベルアップを図っています。

Q 大学病院は給料が少ない？

A 残念ながら、市中病院よりは、少ないです。その代わりに、学会、セミナー参加には、手厚く補助が出ます。平成25年度は研修医28名で88件4,515,060円の旅費を支給しています。医学図書、DVDは、希望により随時購入しています。また、格安のレジデントハウスがあります。

Q 新鮮味が少なくポリクリの延長に？

A 学生実習で回ると研修医で回るのはスタッフの扱いは全く違います。指導医も科もポリクリの印象と大きく変わることは間違いなしです。

レジデントハウス南風(みなかぜ)

鉄筋コンクリート5階建
居室46室(2階10室、3～5階 各12室)
一部屋当たり:24.82㎡

設備等

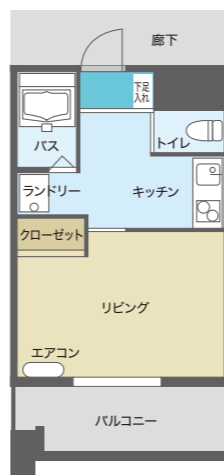
キッチン、バス、トイレ、洗濯機置場
家財等(エアコン、クローゼット、IH調理器、食器棚)
カードキーシステム
インターネット(Bフレッツのマンションタイプ)

使用料

宿舎使用料 12,000円/月
共益費 2,000円/月
退去時ハウスクリーニング代
10,000円(入居時前納)
駐車場代 12,000円/年度
(1,000円/月)
(年度により変更する場合があります。)



各階にラウンジがあります。



お問い合わせは



高知大学
Kochi University

高知大学医学部・病院事務部総務企画課
高度医療人支援係(卒後臨床研修担当:内線22161)

〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
TEL : 088-880-2208 FAX : 088-880-2192
mail : is05@kochi-u.ac.jp

卒後臨床研修センターホームページ
<http://www.kochi-ms.ac.jp/~sotu5/>

高知大学で初期研修

卒後臨床研修のご案内



高知大学
Kochi University

みなさんの医師としての大切なスタートをお手伝いします！

卒後臨床研修センター長
渡橋 和政



- ★ 一人ひとりに合わせたキャリア形成をしっかりサポート
- ★ 屋根瓦方式の研修+安心・安全なステップ式救急研修
- ★ 先進的医療から一般医療、地域医療まで幅広くカバー
- ★ 『高知家』一家総出の全人的研修体制を整備しさらに進化中
- ★ 大自然の中で、健康的でのびのびした研修をしませんか

「高知県は一家」。『高知家』では県下の研修病院が一家総出で研修医教育に当たっており、全病院で協議を重ねながら、病院の垣根を越えて教育体制を進化させ続けています。県内全研修医対象のイベントも数多く開催され、県全体が『おもてなし』の心で研修を提供しています。

大学病院では、一般的な初期臨床研修はもちろんのこと、各領域の最先端医療も学ぶことができ、さらにその中で遭遇する難易度の高いcommon diseaseに対する対応力も養えます。高齢者や複数の疾患・既往を持つ患者さんが増え続けるなか、このようなちょっと欲張りな研修がきっと役にたつでしょう。将来自分の後輩となる学生との交流を通じて教育面にも早期から触れることができ、新しい刺激を受けることが出来ます。さらに生涯を通じてのキャリア作りのサポート、専門医取得や学位取得も視野に入れた研修を提供できるのは、大学ならではのメリットです。通常プログラムに加え、県内の基幹型研修病院とのたすきがけプログラム、さらに内科、外科、小児科、産婦人科の重点プログラムも充実し、一人ひとりのニーズに応える研修内容を提供しています。また全国からの希望者も多い本格的な地域医療研修を優先的に研修していただけるメリットもあります。

高知は、気候は爽やかに暑く、人は人情にあふれて熱く、生活は健康的で心地よい土地です。県外から来た私自身がすっかり気に入っているこの地で、みなさんと成長の喜びをともに味わいたいと願っています。

高知地域医療支援センターは、若手医師やI・Uターン医師の集団「Young Medical Doctors Platform」を組織することで医師同士の仲間意識を高め、同じ目標に向かって団結して「絆」を深めてもらうように支援します。

Young Medical Doctors Platform

若手医師やI・Uターン医師のキャリア形成をサポートします！
あなたもぜひ仲間にも！

高知地域医療支援センターの目的

センターは、厚生労働省所管「地域医療支援センター運営事業」に基づいて高知県から委託され、平成23年12月に高知大学医学部に設置されました。

高知県における医師不足の状況等調査・分析した結果を参考に、医師のキャリア形成支援と一体に医療過疎の環境改善の支援を行うことで、高知県の安全・安心の医療体制を構築することを目的としています。

高知地域医療支援センターの事業

1. キャリア形成支援プログラムの情報発信をします
2. YMDPコミュニティサイトを運営し、Web掲示板で会員同士の意見交換やニーズの収集ができるようにします
3. YMDPメンター制度を作り、様々な悩みを相談できるメンター医師を紹介しします
4. 県内の医療情報や各種セミナーの開催等の情報発信をします
5. ALL高知であなたのキャリア形成をサポートする体制を作ります



<http://cmsc-kochi.jp/ymdp/>

高知地域医療支援センター
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部内
電話088-880-2191

初期臨床研修プログラム

平成27年度、高知大学の初期臨床研修プログラムは10です。

高知大学臨床研修プログラム 定員27人

本院の基本的プログラムです。
「将来の専門性に関わらず、幅広い研修を行い、しっかりと基本的診療能力を身につけたい」
「将来は病理診断医をめざしているが、そのために役にたつ臨床経験を実践したい」
「将来は内科医をめざしているが、専門は決めていない。できるだけ多くの分野を研修して自分に合う領域をみつきたい」
など様々なニーズに応えることができます。

高知大学内科重点研修プログラム 定員3人

高知大学外科重点研修プログラム 定員3人

高知大学小児科重点研修プログラム 定員2人

高知大学産婦人科重点研修プログラム 定員2人

将来、内科医・外科医・小児科医・産婦人科医をめざす研修医のための研修プログラムです。臨床研修の基本理念に基づいた到達目標を達成しつつ、専門研修を見据えた基本的診療能力の習得をめざします。

高知大学・近森病院複合研修プログラム 定員4人

高知大学・NHO高知病院複合研修プログラム 定員2人

高知大学・幡多けんみん病院複合研修プログラム 定員2人

高知大学・高知医療センター複合研修プログラム 定員2人

高知大学・高知赤十字病院複合研修プログラム 定員2人

高知県内の5つの基幹型病院とのたすきがけプログラムです。大学病院とそれぞれの病院の研修をいといとどりでできます。



近森病院は高知市中心部にある民間病院で、多くの救急患者を受け入れており、急性期医療からリハビリテーションまで実践しています。

NHO高知病院は高知市の西部に位置し、地域の基幹病院として重要な役割を果たしています。

幡多けんみん病院は高知県西部、とくに幡多地域で完結する医療をめざす基幹病院であり、周囲の地域医療、へき地医療を支える要となる医療機関です。

高知医療センターは高知市南部に位置し、救命救急センターは高知市周辺だけでなく、ヘリ搬送を利用して高知県全域の高度救急を担っています。

高知赤十字病院は救急救命センターと地域医療支援病院としての機能を活かし、幅広いプライマリケアを習得できる基幹型病院です。

高知赤十字病院とのプログラムでは、1年目を高知赤十字病院、2年目を大学病院での研修に固定しています。その他のプログラムでは1年目を大学病院、2年目を近森病院/NHO高知病院/幡多けんみん病院/高知医療センターで研修するか、もしくは逆のパターンで研修できます。

ローテート研修の基本ルール

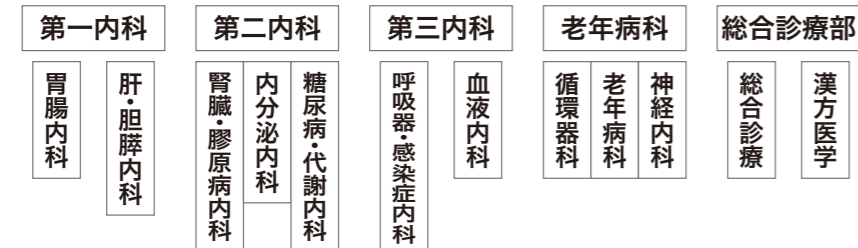
高知大学病院の研修プログラムの基本的なローテート研修について示します。

(1) 必修科目

必修科目は、内科、救急、地域医療の3つです。

内科

1年目に6か月必修です。下記の4つの内科診療科と総合診療部より3科を選択し2か月単位でローテートします。自由選択で必修としなかった科を研修することも可能です。



救急

救急研修は3か月必修です。当院では、安心して安全な研修を実現するために、段階的な救急研修を行います(ただし「たすきがけ研修」では異なる場合があります)。

- ◎**ステップ1**: オリエンテーションでの血管確保実習、BLSコース(アメリカ心臓協会認定)、アナフィラキシー対応講習、1か月目の外科縫合研修、尿道バルーン留置研修、2か月目のICLSコース(救急医学会認定)、1年以内のCVライン研修を行い、救急のための基本的診療技能を習得します。
- ◎**ステップ2**: 1年目に1か月の麻酔科研修を行い、気管挿管や循環管理といった救急での患者管理に必須の知識と技能を身につけます。また月2回程度、指導医とともに時間外当直を行い、救急患者の初療対応について学びます。
- ◎**ステップ3**: 上記のステップを修了し基本を身につけた後に、本院(救急部と総合診療部のハイブリッド救急研修)もしくは研修協力病院の救命救急部門(高知医療センター、近森病院、高知赤十字病院、幡多けんみん病院、岡山大学病院、日本医科大学付属病院)で2か月間の実践的救急研修を行います。

地域医療

2年目に1か月必修です。高知県内の自治体病院を核とする5つの地域医療研修システム(大月地区、梶原地区、仁淀地区、嶺北地区、安芸地区)から選択します。地域で生活しながら「真の地域医療研修」を経験できます。また、高知生協病院を中心とした地域志向性地域医療研修プログラム、在宅療養支援診療所(あおぞら診療所高知潮江、ネクストホームクリニック)を中心とした在宅医療研修も選択できます。希望者は1か月の追加研修を行うことも可能です。

病院DATA

高知大学医学部附属病院はがん治療をはじめ最高水準の医療を提供していますが、私たちは今日の最高水準にとどまらず、明日はまた一つ高みを望める医療を目指します。

- ◇日本医療機能評価機構認定病院
- ◇都道府県がん診療連携拠点病院
- ◇エイズ治療の中核拠点病院
- ◇肝疾患診療連携拠点病院
- ◇災害拠点病院



■患者数等の実績(平成25年度)

- ・年間入院患者数 183,729人
503人/日
- ・平均在院日数 一般 14.9日
精神科 57.1日
- ・年間外来患者数 254,325人
1,042人/日
- ・紹介率 72%

病院再開発中です

地域に密着した先端医療の推進や医師や看護師など医療人の育成を目指した病院再開発を行います。新病棟は免震構造を採用した鉄骨鉄筋コンクリート造りの7階建てで、屋上にはヘリポートを整備します。平成26年11月完成予定の新病棟建設を皮切りに、平成31年度までに既存の病棟や診療棟も順次改修していきます。

Renewal

■新病棟の概要

所在地/高知県南国市岡豊町小蓮(高知大学岡豊団地構内)
延床面積/新病棟:17,714㎡ RI病棟:292㎡ 渡り廊下:508㎡
構造・階数/鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階(高さ40.25m) 基礎:免震構造



新病棟鳥瞰図



新病棟見上図

(2) 選択必修科目

- ・下記の5科から2つ以上を選択してください。
- ・ローテート期間はいずれも1か月ですが、延長を希望する場合は自由選択科として追加することができます。

外科

外科(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科)のほかに、形成外科、整形外科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科でも研修することができます。

麻酔科

1年目の麻酔科とは異なり、手術麻酔や術後管理に重点を置いた研修を行います。

小児科

将来の専門性にかかわらず習得しておくべき小児科領域の臨床能力を身につけることに重点を置きます。

産婦人科

将来の専門性にかかわらず習得しておくべき産婦人科領域の臨床能力を身につけることに重点を置きます。

精神科

どのような専門性で診療する場合でも、精神科の知識・技能は大変、役に立ちます。

(3) 自由選択科目

必修科目および選択必修科目以外の研修期間は、自由選択科目の研修を行うことができます。2年間の研修の目的や将来のキャリアを考えながら、科目を選択することが必要となります。このあとに掲載している各分野のキャリア・パスやローテート推奨パターンをご覧ください。アドバイザーとよく相談の上、自分の目的にあったローテート研修を組み立ててください。選択できる科目は以下のとおりですが、研修協力病院での研修を選択することも可能です。

第一内科、第二内科、第三内科、老年病科、小児科、精神科、皮膚科、放射線科、外科1、外科2、形成外科、麻酔科、産婦人科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、泌尿器科、検査部、総合診療部、病理診断部、救急、緩和ケア、赤十字血液センター、高知県総合保健協会

(4) 2年間での到達目標の達成

本院では、2年の研修修了時点で、臨床研修の到達目標として「必修」とされる項目を100%経験できるように配慮をしています。未経験項目を早めに明らかにし、必要に応じて短期の「レスキュー研修」を行い、目標を達成します。指導医やプログラム責任者と相談しながら、早めに解決するようにします。

(5) 大学院との両立

卒後臨床研修1年目から大学院に入学することが可能となりました。最短で卒後4年で博士号が取得できます。

オリエンテーション

安心安全な研修をスタートさせるため、オリエンテーションを行っています。
共通オリエンテーション(県内すべての研修医が合同で実施)と個別オリエンテーション(本院研修医のみの研修)の2段階で実施しています。

共通オリエンテーション(5日間)

講義：保険診療、医療事故防止、地域医療研修、アナフィラキシーへの対応、研修のメンタルヘルスケアなど
実習：患者搬送、院内感染対策、採血・点滴法、BLSなど



採血・点滴法



BLS

個別オリエンテーション(6日間)

講義：病院運営、病理解剖・CPC、インシデントレポートなど
実習：グラム染色・鏡検、診療システム(電子カルテ) 演習、接遇研修、手術室における医療安全など



グラム染色・鏡検

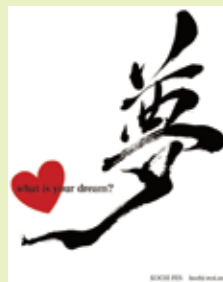


手術室における医療安全

オリエンテーション終了後には、ME機器研修、外科縫合研修、尿道バルーン留置研修、CVライン留置研修、日本救急医学会認定 ICLSコースなどのカリキュラムがあり、救急研修の基本を身につけることができます。

コーチレジ

高知県の研修医は「コーチレジ」の名のもとで一丸となって活動しています。「高知県の1つ1つの病院では、都会の有名病院にかなわない部分もあるのかもしれない。でも県内の研修医、さらには病院が一つになれば、絶対に負けることはない！」その思いの下で研修医が主体の活動を進めています。



「レジデントクエスト」「臨床推論」
研修医による研修医のための勉強会で、皆でステップアップしていこうというものです。内容は日常診療に役立つことはもちろんのこと、「失敗談」や「研修で辛かったこと」などの情報を共有する時間も設けています。このような勉強会やその後の飲み会を通じて研修医同士は出身大学に関係なく互いに顔見知り、非常にいい雰囲気、研修環境を盛り上げています。

「コーチフェス」
学生、研修医、上級医が病院間の垣根を越えて集まり、それぞれのブースで勉強会、医療体験、シンポジウムを行いました。来場者は100人を越え、参加者から、「非常に楽しく、ためになった!」「是非また来たい!」などの声をいただきました。県外から来てくれた学生さんからも「高知県の研修医のアツい繋がりを感じた!」「研修医の目が輝いていた!」と絶賛されました。

「高知県ブース」
合同病院説明会には、「高知県ブース」として各病院の研修医が勧誘の中心になって出展しています。「高知県の研修って、県外に出ても全く引けを取らない!むしろ勝ってるじゃないか!」と、自分たちの活動を誇らしく感じています。



「セイフティスクラム」
研修医に最も近く共感的な存在である若手医師(2~5年目)による相談窓口を設けました。「セイフティスクラム」は、研修医のメンタルヘルスマネジメント向上を目的とするネットワークです。研修生活においてメンタルストレス不全に陥ることなく、充実した研修をもらうために独自の視点でさまざまなシステムを用意しています。

今後もさらに研修医全員がレベルアップでき、研修医から高知県の医療を盛り上げていく高知県オリジナルの研修環境を作っていくつもりです。みなさん、高知県で初期研修をして、一緒に研修環境、さらには高知県の医療を盛り上げていこうじゃないですか!



協力病院・施設

高知県内のすべての基幹型病院を含む豊富な協力病院・施設から研修先を選べます。

協力型臨床研修病院(30)

国立病院機構高知病院
高知県立幡多けんみん病院
高知県立あき総合病院
土佐市民病院
高知赤十字病院
高知医療センター
近森病院
近森リハビリテーション病院
近森オルソリハビリテーション病院
細木病院
細木ユニティ病院
JA高知病院
土佐病院
くぼかわ病院
地域医療機能推進機構高知西病院
須崎くろしお病院
高知厚生病院
島津病院
愛宕病院
高知鏡川病院
高知生協病院
渭南病院
岡山大学病院(岡山県)
徳島大学病院(徳島県)
東京医科歯科大学医学部附属病院(東京都)
国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター(香川県)
国立病院機構四国がんセンター(愛媛県)
国立病院機構呉医療センター(広島県)
総合病院回生病院(香川県)
日本医科大学附属病院(東京都)

協力型臨床研修施設(31)

本山町立国保嶺北中央病院
構原町立国民健康保険構原病院
大月町立国民健康保険大月病院
いの町立国民健康保険仁淀病院
いの町立国民健康保険長沢診療所
高知市土佐山へき地診療所
津野町立国民健康保険杉ノ川診療所
宿毛市立沖の島へき地診療所
四万十市国民健康保険西土佐診療所
仁淀川町立国民健康保険大崎診療所
四万十町立国民健康保険十和診療所
四万十町立国民健康保険大正診療所
馬路村立馬路診療所
高知県中央東福祉保健所
高知県中央西福祉保健所
高知県須崎福祉保健所
高知県幡多福祉保健所
高知市保健所
高知県立精神保健福祉センター
高知県赤十字血液センター
高知県総合保健協会
高知ファミリークリニック
みなみの風診療所
浅井産婦人科内科
佐野内科リハビリテーションクリニック
聖ヶ丘病院
あおぞら診療所高知潮江
ネクストホームクリニック
朝倉病院
こにしクリニック(愛媛県)
国立保健医療科学院(埼玉県)



▶ 病院見学のお申し込み

高知大学卒業臨床研修センターホームページから
<https://www.kochi-ms.ac.jp/~sotu5/inquiry/observe.php>

高知医療再生機構ホームページから
http://www.e-resident.jp/2012/hosp_photo/kouchi/index.php#form

- ◆高知県外在住の方で、高知県内での初期臨床研修または後期臨床研修を検討している方
- ◆高知県内の2か所以上の基幹型臨床研修病院を見学しようとしている方
- ◆高知医療再生機構が、一泊あたり定額1万円(3泊を上限)の助成を行います。

